

交通ルールを守って
つながる笑顔



かながわの交通

2012

1

今年の交通安全年間スローガン(内閣総理大臣賞、最優秀作) 一運転者(同乗者を含む)に対するもの—


車にも 乗せようマナーと 思いやり



謹賀新年

稲村ガ崎から富士山を望む

ハンドルキーパー運動推進中!



飲酒運転根絶!!
今日のハンドルキーパーさんは?

◎県内の交通事故発生概況(12月末)

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成23年		38,800	180	46,164
平成22年		41,815	182	49,644
	増減数	-3,015	-2	-3,480
	増減率	-7.2	-1.1	-7.0

◎県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,061,473	4,544,194	4,517,279
免許人口	5,515,025	3,218,684	2,296,341
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	2.0人に1人

(県人口は平成23年11月1日、免許人口は平成23年11月末)

(公財)神奈川交通安全協会会長

石坂 浩二



新年明けましておめでとうございます。平成二十四年の輝かしい新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

皆様方には、各季の交通安全運動を始

年頭ご挨拶

神奈川県警察本部長

久我 英一



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。公益財団法人神奈川交通安全協会の皆様におかれましては、交通安全協会として全国初の公益認定を受け、その初

め、常日頃から各種活動に取り組んでいただきまして、その御労苦に対しまして敬意と感謝を申し上げます。

昨年四月、当協会が全国初の公益財団法人としてスタートしたのと機を同じくして会長という要職をお引き受けしたところで、年頭に当たり改めて気が引き締まる思いです。

さて、昨年の本県における交通事故情勢につきましては、皆様方の御尽力により発生件数、負傷者数とも十一年連続減少というすばらしい成果を上げたほか、死者数にあつても、前年より減少させるなど増加傾向に歯止めをかけることができました。

死亡事故の発生実態を見えますと、二輪車乗車中の事故、高齢者による運転中や歩行中の事故が多発しているほか、

年度として輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、平素から交通安全活動はもとより、警察行政各般にわたり深い御理解と多大の御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、東日本大震災後の計画停電に伴う信号機の減灯対策では、貴協会を始めとした関係機関・団体等、多くの皆様方の御協力をいただき、際立った交通混乱もなく県民生活を確保することができましたことに、改めて感謝申し上げます。

さて、昨年の県内の交通事故情勢につきましては、交通事故で亡くなられた方は、前年より二人少ない百八十人で、人身交通事故の発生件数及び負傷者数につきましては、十一年連続して減少いたしました。

依然として飲酒事故が絶えないところであり、また昨年は、全国的に自転車利用者の交通ルール遵守・マナーアップが強く叫ばれました。

県交通安全協会としましては、このよ

うな交通情勢を踏まえ、関係機関・団体と緊密に連携しながら家庭、学校、職場、地域が一体となった交通安全活動、とりわけ県民一人ひとりが、悲惨な交通事故を自分自身や家族の身近な問題として考え、行動していただけるよう各種活動を展開することの必要性を痛感しているところ

です。第九次交通安全計画を受けて、年間の交通事故死者数を百五十人以下にするためには、悲惨な交通事故の主な原因が、高齢者の歩行中のルール無視か、加齢に伴う運動機能の低下か、自転車のルール無

視か、二輪車の速度超過が原因か、飲酒の影響によるものかなど、その分析結果を踏まえて、これまで以上に県民の心に強く訴える啓発活動が肝心ではないかと考え、特に交通安全に無関心な、交通事故は他人事と考えている方々に、交通安全活動の場所に足を運んでいただき、耳を傾けていただくなどの努力をお願いしたいと思います。

本年も、自転車利用者に対する安全指導や反射材の普及促進、「ハンドルキーパー運動」の更なる拡大・推進等を通じて県民の交通安全を確保してまいる所存でありますので、皆様方のご指導・ご協力のほどをお願い申し上げます。

結びに、皆様方のますますのご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

これらも、貴協会による、飲酒運転根絶ハンドルキーパー運動や交通事故防止キャンペーンの実施など、ドライバー、歩行者等の交通安全意識を高揚させるための幅広い交通安全対策を積極的に推進していただいた賜物であると考えております。

しかし、未だに多くの尊い命が奪われており、依然として大変厳しい交通情勢にあるものと認識しております。特に、昨年は自転車の死亡事故が増加するとともに、自転車利用者のルール・マナー違反が社会問題として取り上げられ、県民の自転車交通秩序に関する意識が高まっているところであります。

こうした情勢を踏まえ、本年、県警察では、二輪車・高齢者・自転車・飲酒運転による交通死亡事故防止対策を重点的



第52回交通安全国民運動中央大会
1月17日、日比谷公会堂で本会議

神奈川県は金章8名、銀章34名、団体等が受賞

1月17日、日比谷公会堂で開催される第52回交通安全国民運動中央大会本会議における神奈川県交通安全栄誉章緑十字金・銀章等の受章者及び団体は次のとおりです。

★ 交通安全栄誉章緑十字金章

屋城 一之(山手)
森 勇(青葉)
山根 文男(宮前)
片山 吉治(宮前)
原田 弘(多摩)
水野 宏(小田原)
古宮 良男(小田原)
鈴木 靖夫(伊勢原安管)
★ 交通安全栄誉章緑十字銀章
杉島 和二郎(加賀町)

小森 富治(山手)
横井 正巳(金沢)
岩崎 忠雄(戸部)
内田 登(青葉)
増田 京市(泉)
天野 政義(泉)
吉野 十三夫(都筑)
稲田 英夫(川崎)
石井 富士夫(川崎臨港)
田中 正夫(川崎臨港)
持田 健一(宮前)
畠山 好美(麻生)
安田 定夫(横須賀)
須藤 茂男(横須賀)
島崎 保征(横須賀)

中野 勝治(横須賀)
青木 克己(葉山町)
丸山 恭一郎(鎌倉)
河西 誠一(藤沢市)
高橋 隆雄(藤沢北)
中浦 渡(平塚市)
川久保 暉男(小田原)
尾崎 輝雄(小田原)
加藤 友靖(小田原)
大谷 隆(足柄)
熊沢 光義(足柄)
柏木 一雄(秦野市)
府川 道生(秦野市)
新井 勝海(厚木署管内)
渡邊 要(厚木署管内)
中丸 春雄(厚木署管内)
安西 信幸(津久井)
山下 聖次(津久井)

(順不同・敬称略)

★ 交通安全優良団体

・小田原市交通安全母の会連絡協議会

★ 交通安全優良学校

・厚木市立緑ヶ丘小学校
・三浦市立初声小学校

★ 優良交通安全協会

・都筑交通安全協会
・鎌倉交通安全協会



森さん



屋城さん



片山さん



山根さん



水野さん



原田さん



鈴木さん



古宮さん

公益財団法人
神奈川県交通安全協会
専務理事
高橋 民雄



相模地区
交通安全協会連合会
会長 石井 廣好



湘南地区
交通安全協会連合会
会長 脇 環



三浦半島地区
交通安全協会連合会
会長 茂原 啓一



社団法人
川崎市交通安全協会
会長 山下 秀男



財団法人
横浜市交通安全協会
会長 板橋 悟



公益財団法人
神奈川県交通安全協会
会長 石坂 浩二



新春のお慶びを
申し上げます



平成24年使用 交通安全年間スローガン決定

～ 応募総数は165,630点 ～

平成24年使用の交通安全年間スローガンが決まりました。交通安全年間スローガンは、全日本交通安全協会と毎日新聞社の主催によって毎年全国から募集しており、今回は165,630点の作品が寄せられ、交通関係機関・団体の関係者や学識経験者による審査を経て、各部門、内閣総理大臣賞（最優秀作）、内閣府特命担当大臣賞（優秀作）、警察庁長官賞（優秀作）各3点、文部科学大臣奨励賞（こども部門）1点、全日本交通安全協会会長賞（佳作）12点が選ばれました。ここでは、受賞作品のうち各部門最優秀作、優秀作を紹介します。

☆ 運転者（同乗者を含む）に対するもの

- ◎ 最優秀作（内閣総理大臣賞）
車にも 乗せようマナーと 思いやり（大阪府 市来 吉信）
- 優秀作（内閣府特命担当大臣賞）
慣れた道 思わぬ危険が かくれんぼ（滋賀県 南 英市）
- 優秀作（警察庁長官賞）
醒めたはず その思い込みに 魔が潜む（山口県 藤本 幸男）

☆ 歩行者・自転車利用者に対するもの

- ◎ 最優秀作（内閣総理大臣賞）
自転車も 安全速度と 気配りを（高知県 田村 和夫）
- 優秀作（内閣府特命担当大臣賞）
ヘッドホン 危険の合図 聞き逃す（静岡県 澤本 踊子）
- 優秀作（警察庁長官賞）
ありがとう 孫から教わる 交通ルール（高知県 田岡 千都子）

☆ こども部門

- ◎ 最優秀作（内閣総理大臣賞）
いそいでも かならずかくにん みぎひだり（静岡県 鳥居 桜子）
- 優秀作（内閣府特命担当大臣賞）
あぶないよ けいたいでんわと にらめっこ（静岡県 鈴木 朔瑠）
- 優秀作（警察庁長官賞）
つうがくろ なれたみちでも 気をつけて（岐阜県 三輪 朋之）
- 優秀作（文部科学大臣奨励賞）
「分かってる」だったらやめよう 二人乗り（東京都 東内 郁美）
(敬称略)

Wiiを使って楽しく学べる次世代型交通安全教育システム導入

～自転車シミュレーション・高齢者の歩行力診断～

県協会ではこのほど、株式会社スターフィッシュ・エスディから自転車シミュレーション、歩行センサーで歩く速度を測定できる交通安全教材の寄贈を受けました。この機材は、Wiiと自転車コントローラを使用することによって実物の自転車に乗り、実際の路上での運転を体感できます。また、高齢者の歩く速度を計測し、受講者に自分の歩行速度を認識させ、安全に道路を横断する場合の目安を知ることができます。

なお、レンタルは新年度からとなりますが、こども、高齢者の交通安全教育にご活用ください。



三浦市立初声小学校

〔沿革等〕

初声小学校は、明治6年5月の「下宮田村実相寺」における下宮



田学校の創立に始まり、その後、明治22年10月の市町村制定実施で「初声校」として誕生、昭和30年1月の市制施行に伴い、校名を「初声小学校」に改め、現在に至っています。

平成23年4月現在、児童数542名、職員数27名を擁し、西に相模湾を望む風光明媚な、歴史と伝統のある小学校です。その校風は、「自分で考え行動できる子」、「共に学び高め合う子」、「やさしく温もりのある子」を育てることを教育目標として、子どもの側に立った見方、考え方を基本に、子どもとの信頼関係に基づいた教育に重点をおいています。

〔功労の概要等〕

校長以下教職員が児童の交通安全教育に積極的に取り組み、PTAと連携して「こども見守り隊」を結成し、児童の登下校時における交通事故防止活動を推進しています。また、児童の自転車事故防止活動に力を入れ、毎年、警察や交通関係機関・団体と連携して、「自転車の安全な乗り方教室」を開催しているほか、県警、交通安全協会が主催する「交通安全こども自転車神奈川県大会」に4年連続出場するなど、児童の交通安全意識の高揚と交通事故防止に貢献しています。（学校所在地：三浦市初声町下宮田3728）

第52回交通安全国民運動中央大会で表彰される小学校の紹介

厚木市立緑ヶ丘小学校

〔沿革等〕

緑ヶ丘小学校は、昭和41年4月に南毛利小学校から分離独立して



開校しました。平成23年4月現在、児童数715名、教職員数37名を擁し、所在地は、小田急線「本厚木駅」の北方約25キロメートルに位置し、学校の北方約25キロメートルに位置し、学

校名にふさわしく、周辺は緑に囲まれた教育環境に恵まれた学校です。「元気な子」、「考える子」、「仲良くする子」、「がんばる子」、「夢を持つ子」を育てることを指針として、「心豊かでたくましく自ら学ぶ緑ヶ丘の児童を育てる」ことを教育目標に、人権を尊重する人間性豊かな児童の教育に重点をおいています。

組んでいます。特に、警察や関係機関・団体が主催する「交通・防犯の集い」に積極的な協力を行っているほか、子どももの自転車安全教育に意を用い、自転車の正しい乗り方教室を計画的に開催し、県警や交通安全協会が主催する「交通安全こども自転車神奈川県大会」には連続3回出場し、上位入賞を果たしています。また、児童の交通事故防止対策として、PTAを中心とした通学路の危険箇所の把握を通じた「児童の見守り活動」などを積極的に、児童の交通事故防止に貢献しています。

〔功労の概要等〕
校長以下教職員が一丸となり、地元警察署や交通安全協会等と連携して児童の交通安全教育に取り

（学校所在地：厚木市緑ヶ丘4の1の1）

全日本交通安全協会会長優良職員表彰

～本県では3名が受賞～
おめでとうございます～



市川さん



渡邊さん



浅子さん

全日本交通安全協会の優良職員表彰式が平成23年11月17日、都内のKKRホテルで行われました。この表彰は、交通安全協会の職員として長きにわたり貢献し、顕著な業績を上げた功労に対して行われるもので、本県の受賞者は次のとおりです。

- 市川英子（葉山町交通安全協会）
- 渡邊光伸（平塚市交通安全協会）
- 浅子公恵（神奈川県交通安全協会）

（敬称略）



石坂会長、ポスターで高齢者の交通事故防止を呼びかける！

警察本部と県協会ではこのほど、多発する高齢者の道路横断事故を防止するための広報啓発用ポスターを作成しました。ポスターは、当協会石坂浩二会長が高齢者に「なれた道だからと思いませんか？」と道路横断の安全を呼びかけています。ポスターは1万枚作成し、県、市、警察署などの公共施設に掲示し、交通安全広報啓発活動を展開しています。





ハンドルキーパー運動の紹介

その222 大和綾瀬交通安全協会から

大和綾瀬交通安全協会(古郡保正会長)では、大和駅プロムナード周辺で行われた大和産業フェア会場でブースを設営し、来場者に飲酒ゴーグル体験やハンドルキーパー等に関する交通安全クイズを行い、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その221 神奈川県商工会連合会から

県商工会連合会は、飲酒運転根絶を図るため、「ハンドルキーパーロゴ入り12月カレンダー(A4判)」を1万枚作製し、年末の交通事故防止運動に合わせて県内19地区の商工会を通じ、飲食店に配付してハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その224 大船交通安全協会から

大船交通安全協会(齋木昭嘉会長)では、大船中央病院前交差点付近で、ハンドルキーパーのぼり旗を掲出し、道行く人にチラシなどの啓発物を配布しながらハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その223 フリー雑誌ホットペッパーから

居酒屋などの紹介記事を掲載したフリー雑誌「ホットペッパー12月号」では、「飲酒運転はこんなに危険」のコーナーを設け、「アルコールが体にもたらす影響」、「飲酒運転の罰則」などの周知記事のほか、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけています。



その226 小田原交通安全協会から

小田原交通安全協会(青木正次会長)では、JR小田原駅周辺の飲食店を訪問し「ハンドルキーパーミニ小旗」や「飲酒運転根絶標語入りトイレロール紙」を配布しながらハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その225 伊勢原交通安全協から

伊勢原交通安全協会(上林三千丈会長)では、小田急伊勢原駅周辺の飲食店を訪問し、「ハンドルキーパーミニ小旗」や「飲酒運転根絶標語入りトイレロール紙」を配布しながらハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。





小田原交通安全協会
会長
青木 正次さん

新年明けましておめでとうございます。

今回は、2012年のトップを飾り、小田原交通安全協会会長、青木正次さんを紹介いたします。当協会は、小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町の1市3町を所管しています。協会の設立は、高度成長期時代の幕開けであった昭和20年代後半の自動車保有台数や交通事故の増加を背景に、昭和29年10月、当時の小田原市長が発起人となり発足し、以降、行政に携わる現役の市長、助役が会長を歴任してまいりました。青木会長は、神奈川県職員として長きにわたり勤務された後、平成12年から、小田原市助役として公務に携わる傍ら当協会の会長に就任されました。その間、平成16年4月の小田原警察署の移転に伴う当協会の新設移転や同年に迎えた創立50周年記念式典の実施などについて大変ご尽力をいただきました。

平成20年度からは、54年間の慣例を変更し、民間人の会長を起用することとなりましたが、人選は、平成20年10月に小田原市助役を退任され、数々の実績を残された青木正次さんに白羽の矢が立ち、初代民間人会長として就任されました。

任され、現在に至っております。

ご案内のとおり、小田原のエリアは、国道、西湘バイパス、小田原厚木バイパス等の基幹道路が縦横に走っており、全国に名だたる国際観光都市箱根や小田原、真鶴、湯河原を訪れる人と伊豆方面への通過道路として利用されています。こうしたことから交通事故も多発し、特に、昭和30年代後半から40年代後半にかけては年間40〜50人の方が輪禍で尊い命を失っていました。

このような情勢に対応するため、警察や当協会などの関係機関・団体が丸となって交通安全活動を強力に推進した結果、平成二〇年以降は鎮静化しています。

さて、小田原と言えば、正月恒例の「東京箱根間大学往復駅伝」の往復路の終点、出発点としてテレビで紹介されているほか、数々の行事やイベントが多数開催されており、青木会長の陣頭指揮の下、協会や交通指導員の方々が交通整理等で出動しています。

特に、箱根駅伝では、青木会長は母校である中央大学のOB会である小田原「白門会」の会長として、交通対策の合間を縫って激励を行っています。一方、知る人ぞ知る、青木会長

は高校時代には軟式テニスの選手としてインターハイや国体などにも出場するなど全国的に活躍したスポーツマンでありましたが、今でも、名所巡りのウォーキングやゴルフで健康維持に努めています。また、会長として各種活動に活躍されているほか、地域の自治会役員も務められ、安全安心なまちづくりにも貢献されています。こうした一連の地道な活動が認められるところとなり、平成22年には「交通安全誉章緑十字銀章」の受章の栄に浴されています。

当協会は、こうした会長の交通安全への積極的な取り組み、明るい性格と庶民性もあって、協会事務局の雰囲気も和気あいあいの明るい職場となっております。会長は、当面の交通安全活動の目標を高年齢者、自転車事故防止として捉え、昨年、「こども自転車神奈川県大会」で14連覇を果たした桜井小学校の更なる躍進、警察や各種関係機関・団体と連携した「交通事故の減少」と「安全なまちづくり」を目指していきたいと抱負を語っておりますが、今後とも健康に留意され、ますますのご活躍を期待しているところであります。

(取材協力：小田原交通安全協会)

インフォメーション

企画・安全委員会

2月27日(月)

県協会会館

こんにちは

「茅ヶ崎地区交通安全協会」です

新年明けましておめでとうございます。

当協会は、昭和23年に「茅ヶ崎交通安全協会」として発足し、昭和52年4月に「茅ヶ崎地区交通安全協会」と改名し現在に至っております。協会のエリアは茅ヶ崎市と寒川町を所管し、当初、警察署内にあった事務所は昭和33年に警察署近くに設置し、事務長と職員3名が交替制で窓口業務を行っています。

さて、茅ヶ崎は、温暖な気候で、戦前から戦後にかけては保養地、別荘地として栄えたこともあり、近年、東京、横浜のベッドタウンとして都市化の波が押し寄せ、今や人口も23万6千人を超えるなど、住宅都市へと大きく変貌しました。また、茅ヶ崎は日本のサーフィン発祥の地の一つとして歴史があり、海岸には季節を

問わず多くのサーファーの姿を見かけます。

市内の交通網は、JR東海道線、相模線の鉄道網のほか、国道1号、134号、主要県道が縦横に走り、観光地へ向かう車両や物流車両の通過地域として利用されていることから交通量が増え、交通事故も多発しています。

こうした状況下、各季の交通安全運動キャンペーン等の実施に加え、「浜降祭」、「大岡越前祭」、「花火大会」等多彩な行事が茅ヶ崎輩出の芸能人により彩りを加え毎年盛大に開催されますことから、会長以下多くの交通指導員の方々が関係機関・団体と連携を図りながら、交通安全対策を推進しています。

一方、茅ヶ崎市は「自転車のまちがさき」として警察署や関係機関・団体と様々な取り組みを実施し、特に、市民に対する自転車の交通事



故防止に力を入れており、子どもと高齢者を中心とした自転車交通安全教室を積極的に開催するとともに、交通安全広報・啓発活動を展開しています。

今後も、地域の皆様の交通安全意識の向上を目標に、親切・丁寧な窓口対応で、職員が一致協力して頑張っておりますので、よろしくお願ひいたします。結びに、皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。

(佐藤 記)

地区交通安全協会の活動紹介

～飲酒運転根絶月間・年末の交通事故防止運動～



栄
JR根岸線本郷台駅周辺の飲食店を訪問し、チラシや啓発物を配布しながらハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。

戸部
横浜駅西口でハンドルキーパーの幟を掲出し、チラシや啓発物を配布しながら道行く人にハンドルキーパーの実践を呼びかけました。



三浦市
警察署前道路で交通事故防止のチラシとともに大根を配り、通行中のドライバーに「交通事故大根絶」を呼びかけました。

保土ヶ谷
区内大型店舗前道路で道行く人にチラシや啓発物を配布しながら交通事故防止を呼びかけました。



逗子市
JR逗子駅前商店街通りで、通行中のドライバーにチラシや啓発物を配布しながら飲酒運転根絶を呼びかけました。

葉山町
警察署前道路で交通事故防止チラシや啓発物を配布しながら、通行中のドライバーに交通事故防止を呼びかけました。



津久井
甲州街道小原宿本陣祭の大名行列で武士に扮した役員が、ハンドルキーパー幟を掲出しながら沿道の観客に飲酒運転根絶を呼びかけました。

座間
座間警察署前県道で通行中のドライバーにチラシや啓発物を配布しながら飲酒運転根絶を呼びかけました。



あなたの会費が交通安全活動に役立っています

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は、全国の交通安全協会の中で初の「公益財団法人」の認定を取得し、公益事業の担い手として「県民のための交通安全活動」を推進してきました。これも「重に交通安全協会にご理解とご支援をいただいている地区の皆様とや自動車関連団体、そして推進委員や交通指導員の方々が多くの公益事業を展開してくれているお蔭と感謝を申し上げます。

さて、「3・11東日本大震災」の発生に伴い日本全体が不安の底に落ちましたが、日本人の心は、大災害が発生した都度、絆を強くしては、上がってきた歴史があります。これからの心をつにして復興を目指していきます。当協会の石坂会長が新春対談で「これからも支援を続けて行く必要がある」と話しておりましたが、当協会も合わせて支援を続けて行かなければと思っております。

また、昨年は各地区との交流を図る機会が多々あり、ボランティア活動を展開していただいている推進委員と交通指導員の活動を目的のあたりにして心強く感じました。交通事故の減少は、まさにボランティアの力ではないかと思っております。昨年、茨城県と北海道が交通事故を大きく減少させた結果の検証を見ますと、観光客等に対しての「交通安全広報活動」が大きく貢献したとのこと。警察の取締りだけでは、交通事故の減少には難しいものがあります。3E（交通安全広報教育・交通環境の整備・交通指導取締り）の原則を踏まえて当協会ができる広報活動を今年も展開してまいりますので皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

(T・T記)